

予算科目	1 款	市街地開発事業費	総合計画	第 章																																												
	1 項	被災市街地復興 土地区画整理事業費		第 節																																												
	3 目	湊東地区事業費		()																																												
担当課	復興企画部復興推進課		中 事 業	湊東地区事業費（市街地開発事業特別会計）																																												
実施計画 掲載ページ			事 業 名	土地区画整理事業（湊東地区）〔復興交付金〕〔復興基金〕																																												
目的及び事業内容	被害が甚大であった湊東地区では、市民の安全確保を第一に考え、多重防御による災害に強いまちづくりを目指した住居系ゾーンとして石巻市震災復興基本計画において位置づけ、住宅機能や商業機能の充実を図ることとしている。土地区画整理事業の導入により、高盛土道路等の整備に合わせ、避難の支障となった狭隘道路や袋小路の解消、安全な避難経路の確保といった公共施設の整備、土地の集約等による復興公営住宅の配置など、安全安心な市街地を形成し、地域人口流出の抑制と住宅等の再建を推進する。 【施行面積：29.6ha 施行予定期間：平成25年度～令和3年度 総事業費（A）：5,037,214千円】																																															
取組実績	下記のとおり業務及び工事等に着手、実施した。 【認可関係】 ・都市計画決定：平成25年2月19日 ・事業計画決定：平成25年9月20日、第1回変更：平成26年5月21日、第2回変更：平成27年9月25日、第3回変更：令和元年12月20日 第4回変更：令和3年1月28日 第5回変更：令和3年10月1日、第6回変更：令和4年3月14日 【令和3年度事業実施概要】																																															
	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>主な事業内容</th> </tr> <tr> <td>設計業務</td> <td>換地設計一式</td> </tr> </table>		項目	主な事業内容	設計業務	換地設計一式																																										
項目	主な事業内容																																															
設計業務	換地設計一式																																															
成 果	設計業務、公共施設等工事、移設工事及び移転補償を実施することにより、都市基盤の復興に向けた事業の推進が図られ、令和2年度には公共施設等工事が完了した。																																															
	<p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">予算額 (B)</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th rowspan="2">決算額累計 (C)</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成値 (E/D)</th> </tr> <tr> <th>目標値 (D) (B/A)</th> <th>実績値 (E) (C/A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H29</td> <td>3,130,816</td> <td>2,793,826</td> <td>2,793,826</td> <td>62.2%</td> <td>55.5%</td> <td>89.2%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>466,942</td> <td>433,540</td> <td>3,227,366</td> <td>64.8%</td> <td>64.1%</td> <td>98.9%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>1,237,158</td> <td>1,236,259</td> <td>4,463,625</td> <td>88.7%</td> <td>88.6%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>601,851</td> <td>343,588</td> <td>4,807,213</td> <td>100.0%</td> <td>95.4%</td> <td>95.4%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>206,498</td> <td>206,498</td> <td>5,013,711</td> <td>100.0%</td> <td>99.5%</td> <td>99.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 目標値及び実績値については、過年度からの累計値としている。</p>					年度	予算額 (B)	決算額	決算額累計 (C)	成果指標		達成値 (E/D)	目標値 (D) (B/A)	実績値 (E) (C/A)	～H29	3,130,816	2,793,826	2,793,826	62.2%	55.5%	89.2%	H30	466,942	433,540	3,227,366	64.8%	64.1%	98.9%	R1	1,237,158	1,236,259	4,463,625	88.7%	88.6%	99.9%	R2	601,851	343,588	4,807,213	100.0%	95.4%	95.4%	R3	206,498	206,498	5,013,711	100.0%	99.5%
年度	予算額 (B)	決算額	決算額累計 (C)	成果指標						達成値 (E/D)																																						
				目標値 (D) (B/A)	実績値 (E) (C/A)																																											
～H29	3,130,816	2,793,826	2,793,826	62.2%	55.5%	89.2%																																										
H30	466,942	433,540	3,227,366	64.8%	64.1%	98.9%																																										
R1	1,237,158	1,236,259	4,463,625	88.7%	88.6%	99.9%																																										
R2	601,851	343,588	4,807,213	100.0%	95.4%	95.4%																																										
R3	206,498	206,498	5,013,711	100.0%	99.5%	99.5%																																										
成果に係る評価	土地区画整理事業の完了により、公共施設の整備改善、生活基盤の再建等に寄与した。																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																										
	206,498,000	206,498,000			206,498,000																																											

予算科目	1 款	市街地開発事業費	総合計画	第 章																																												
	1 項	被災市街地復興 土地区画整理事業費		第 節																																												
	4 目	湊西地区事業費		()																																												
担当課	復興企画部復興推進課	中 事 業	湊西地区事業費（市街地開発事業特別会計）																																													
実施計画 掲載ページ			事 業 名	土地区画整理事業（湊西地区） 街路整備事業（湊中央線）〔復興交付金〕〔復興基金〕																																												
目的及び事業内容	被害が甚大であった湊西地区では、市民の安全確保を第一に考え、多重防御による災害に強いまちづくりを目指した産業系ゾーンとして石巻市震災復興基本計画において位置づけ、災害危険区域に指定、非可住地として防災集団移転促進事業を実施している。同事業実施後の土地について、土地区画整理事業の導入により、産業系の土地利用に適した公共施設の整備や、街区形成を行うなど、都市基盤の整備水準を高め、安全安心で魅力ある産業地の形成を行い、就業の場を創出し産業再生を推進する。 【施行面積：40.4ha 施行予定期間：平成25年度～令和3年度 総事業費（A）：8,349,824千円】																																															
取組実績	下記のとおり業務及び工事等に着手、実施した。 【認可関係】 ・都市計画決定：平成25年6月21日 ・事業計画決定：平成26年1月14日、第1回変更：平成26年10月8日、第2回変更：平成26年12月8日、第3回変更：平成27年4月28日、第4回変更：平成29年1月27日、第5回変更：平成30年3月7日、第6回変更：令和3年2月5日 【令和3年度事業実施概要】																																															
	<table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>主な事業内容</th> </tr> <tr> <td>設計業務</td> <td>換地設計一式</td> </tr> </table>		項目	主な事業内容	設計業務	換地設計一式																																										
項目	主な事業内容																																															
設計業務	換地設計一式																																															
成 果	設計業務、公共施設等工事及び移設工事を実施することにより、都市基盤の復興に向けた事業の推進が図られ、令和2年度には公共施設等工事が完了した。																																															
	<p style="text-align: right;">(単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">予算額 (B)</th> <th rowspan="2">決算額</th> <th rowspan="2">決算額累計 (C)</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成値 (E/D)</th> </tr> <tr> <th>目標値 (D) (B/A)</th> <th>実績値 (E) (C/A)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>～H29</td> <td>6,290,967</td> <td>4,935,054</td> <td>4,935,054</td> <td>75.3%</td> <td>59.1%</td> <td>78.5%</td> </tr> <tr> <td>H30</td> <td>1,052,315</td> <td>919,369</td> <td>5,854,423</td> <td>71.7%</td> <td>70.1%</td> <td>97.8%</td> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>237,729</td> <td>223,521</td> <td>6,077,944</td> <td>72.9%</td> <td>72.8%</td> <td>99.9%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>2,263,173</td> <td>2,207,042</td> <td>8,284,986</td> <td>99.9%</td> <td>99.2%</td> <td>99.3%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>64,880</td> <td>64,838</td> <td>8,349,824</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 目標値及び実績値については、過年度からの累計値としている。</p>					年度	予算額 (B)	決算額	決算額累計 (C)	成果指標		達成値 (E/D)	目標値 (D) (B/A)	実績値 (E) (C/A)	～H29	6,290,967	4,935,054	4,935,054	75.3%	59.1%	78.5%	H30	1,052,315	919,369	5,854,423	71.7%	70.1%	97.8%	R1	237,729	223,521	6,077,944	72.9%	72.8%	99.9%	R2	2,263,173	2,207,042	8,284,986	99.9%	99.2%	99.3%	R3	64,880	64,838	8,349,824	100.0%	100.0%
年度	予算額 (B)	決算額	決算額累計 (C)	成果指標						達成値 (E/D)																																						
				目標値 (D) (B/A)	実績値 (E) (C/A)																																											
～H29	6,290,967	4,935,054	4,935,054	75.3%	59.1%	78.5%																																										
H30	1,052,315	919,369	5,854,423	71.7%	70.1%	97.8%																																										
R1	237,729	223,521	6,077,944	72.9%	72.8%	99.9%																																										
R2	2,263,173	2,207,042	8,284,986	99.9%	99.2%	99.3%																																										
R3	64,880	64,838	8,349,824	100.0%	100.0%	100.0%																																										
成果に係る評価	土地区画整理事業の完了により、公共施設の整備改善、生活基盤の再建等に寄与した。																																															
予算の執行状況	(単位：円)																																															
	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																													
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																										
	64,880,000	64,838,200			64,838,200																																											

予算科目	1 款	市街地開発事業費	総合計画	第 章									
	1 項	被災市街地復興 土地区画整理事業費		第 節									
	6 目	下釜南部地区事業費		()									
担当課	復興企画部復興推進課		中 事 業	下釜南部地区事業費（市街地開発事業特別会計）									
実施計画 掲載ページ			事 業 名	土地区画整理事業（下釜南部地区） 〔復興交付金〕〔復興基金〕									
目的及び事業内容	被害が甚大であった下釜南部地区では、市民の安全確保を第一に考え、多重防御による災害に強いまちづくりを目指した産業系ゾーンとして石巻市震災復興基本計画において位置づけ、災害危険区域に指定、非可住地とし防災集団移転促進事業を実施している。同事業実施後の土地について、土地区画整理事業の導入により、産業系の土地利用に適した公共施設の整備や、街区形成を行うなど、都市基盤の整備水準を高め、安全安心で魅力ある産業地の形成を行い、就業の場を創出し産業再生を推進する。 【施行面積：25.4ha 施行予定期間：平成26年度～令和3年度 総事業費（A）：4,398,571千円】												
取組実績	下記のとおり業務及び工事に着手、実施した。 【認可関係】 ・都市計画決定：平成27年1月15日 ・事業計画決定：平成27年3月27日、第1回変更：平成29年2月2日、平成29年6月20日 第3回変更：平成30年5月15日、第4回変更：平成31年3月27日、 第5回変更：令和2年3月9日、第6回変更：令和2年11月17日、 第7回変更：令和3年3月9日、第8回変更：令和3年7月20日 【令和3年度事業実施概要】												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>主な事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計業務</td> <td>換地設計一式</td> </tr> <tr> <td>公共施設等工事</td> <td>側溝敷設：22m、上水道布設：552m、舗装工：4,415m²</td> </tr> <tr> <td>移設工事</td> <td>【NTT】マンホール蓋調整：2箇所、地下ケーブル防護：1箇所</td> </tr> </tbody> </table>					項目	主な事業内容	設計業務	換地設計一式	公共施設等工事	側溝敷設：22m、上水道布設：552m、舗装工：4,415m ²	移設工事	【NTT】マンホール蓋調整：2箇所、地下ケーブル防護：1箇所
	項目	主な事業内容											
設計業務	換地設計一式												
公共施設等工事	側溝敷設：22m、上水道布設：552m、舗装工：4,415m ²												
移設工事	【NTT】マンホール蓋調整：2箇所、地下ケーブル防護：1箇所												
設計業務、公共施設等工事、移設工事及び移転補償を実施することにより、都市基盤の復興に向けた事業の推進が図られた。													
成 果	(単位：千円)												
	年度	予算額 (B)	決算額	決算額累計 (C)	成果指標 目標値 (D) (B/A) 実績値 (E) (C/A) 達成値 (E/D)								
	～H29	1,488,233	1,464,870	1,464,870	33.8 % 33.3 % 98.5 %								
	H30	1,869,880	1,822,326	3,287,196	75.8 % 74.7 % 98.5 %								
	R1	402,454	372,357	3,659,553	83.8 % 83.2 % 99.3 %								
	R2	373,967	158,873	3,818,426	91.7 % 86.8 % 94.7 %								
	R3	521,110	375,255	4,193,681	98.6 % 95.3 % 96.7 %								
※ 目標値及び実績値については、過年度からの累計値としている。													
成果に係る評価	石巻工業港の背後地を活かした産業集積ゾーンの整備を行い、早期再建事業者のニーズに応えながら土地区画整理事業を推進し、令和4年1月28日に換地処分公告を行った。 なお、令和4年度以降は、関係機関との調整を図りながら、年度内の工事完了を目指し、効率的に事業を推進していく必要がある。												
予算の執行状況	(単位：円)												
	予算額	決算額	決算額の財源内訳										
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入							
	521,110,011	375,255,343			375,255,343								

予算科目	1 款	市街地開発事業費	総合計画	第 章							
	1 項	被災市街地復興土地区 画整理事業費		第 節							
	7 目	中央二丁目地区事業費		()							
担当課	復興企画部復興推進課		中 事 業	中央二丁目地区事業費（市街地開発事業特別会計）							
実施計画 掲載ページ			事 業 名	土地区画整理事業（中央二丁目地区） 〔復興交付金〕〔復興基金〕							
目的及び事業内容	被害が甚大であった中央二丁目地区では、河川堤防と一体となったまちづくりを基本とし、道路、公園などの整備改善を行い、適正な土地利用を図ることで、災害に強いまちづくりを進めるとともに、川を生かしたまちづくりとして観光交流施設を核とした中心市街地の活性化を図り、土地区画整理事業の手法を用いて土地の配置を行い、観光交流施設、立体駐車場、交通広場及び道路・公園を整備し、賑わいのある中心市街地の形成を図る。 【施行面積：1.39ha 施行予定期間：平成28年度～令和3年度 総事業費（A）：1,350,728千円】										
取組実績	下記のとおり業務及び工事に着手・実施した。 【認可関係】 ・都市計画決定 平成28年3月1日 ・事業計画決定 平成28年5月9日、第1回変更：令和3年2月25日 第2回変更：令和3年9月30日、第3回変更：令和4年3月29日 【令和3年度事業実施概要】										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>主な事業内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設計業務</td> <td>換地設計一式</td> </tr> <tr> <td>公共施設等工事</td> <td>広場整備工：1,360m²、側溝敷設：66.8m、舗装工：639m²</td> </tr> </tbody> </table>					項目	主な事業内容	設計業務	換地設計一式	公共施設等工事	広場整備工：1,360m ² 、側溝敷設：66.8m、舗装工：639m ²
	項目	主な事業内容									
設計業務	換地設計一式										
公共施設等工事	広場整備工：1,360m ² 、側溝敷設：66.8m、舗装工：639m ²										
設計業務、公共施設等工事及び移転補償を実施することにより、都市基盤の復興に向けた事業の推進が図られた。											
成 果	(単位：千円)										
	年度	予算額 (B)	決算額	決算額累計 (C)	成果指標 目標値 (D) (B/A) 実績値 (E) (C/A) 達成値 (E/D)						
	～H29	988,472	757,356	757,356	73.2 % 56.1 % 76.6 %						
	H30	141,335	118,202	875,558	66.6 % 64.8 % 97.3 %						
	R1	194,656	73,478	949,036	79.2 % 70.3 % 88.8 %						
	R2	269,746	269,220	1,218,256	90.3 % 90.2 % 99.9 %						
	R3	57,917	55,825	1,274,081	94.5 % 94.3 % 99.8 %						
※ 目標値及び実績値については、過年度からの累計値としている。											
成果に係る評価	観光と賑わいの拠点づくりに向け、観光交流施設や堤防一体空間などの整備が進められ、土地区画整理事業による（仮称）かわまち交流広場整備において、河川堤防の階段との取付部及び植栽工の一部が完了した。 今後も引き続き、県が進める事業と工程調整を図りながら、令和4年度末に当該広場の整備を完了させることで、交流人口の増加及び中心市街地の活性化に寄与するものである。										
予算の執行状況	(単位：円)										
	予算額	決算額	決算額の財源内訳								
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入					
	57,916,600	55,825,000			55,825,000						

予算科目	4 款	保健事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																												
	1 項	特定健康診査等事業費		第4節	誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進																																												
	1 目	特定健康診査等事業費		(1)	健康づくりを推進する																																												
担当課	保健福祉部保険年金課		中 事 業	特定健康診査等事業費（国民健康保険事業特別会計）																																													
実施計画掲載ページ	P49		事 業 名	生活習慣病予防事業																																													
目的及び事業内容	<p>高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、糖尿病等生活習慣病の発症や重症化を予防することを目的として、国民健康保険被保険者を対象にメタボリックシンドロームに着目した特定健康診査を実施する。</p> <p>該当者に対し生活習慣病を改善するための特定保健指導を行うとともに、医療機関と連携した保健指導の実施により生活習慣病重症化を予防する。</p>																																																
取組実績	<p>1 特定健康診査</p> <p>(1) 対象者 40～74歳の石巻市国民健康保険加入者 25,377人</p> <p>(2) 受診者 10,838人（受診率：42.7%）</p> <p>(3) 未受診者対策事業 ①前年度特定健診未受診者への受診勧奨、②年度内未受診者再勧奨 [通知発送（①4,859人、②7,714人：重複有のため実数：10,437人） うち2,206人が受診（21.14%）]</p> <p>(4) 健康ポイント事業 40～74歳全年齢対象。健診受診状況に応じ抽選でクオカード1,000人、地場産品30人に送付。抽選対象者9,564人（保険税滞納有除く）</p> <p>(5) その他の取組事項 医師会医療機関等への周知依頼（勧奨ポスター、チラシ配付） 健診結果受領（JAいしのまき・石巻商工会議所と連携、未受診者等へ周知）</p> <p>2 特定保健指導（メタボリックシンドローム該当者への保健指導）</p> <p>(1) 対象者 国の基準による対象者（積極的支援、動機づけ支援） 1,403人</p> <p>(2) 実施者 402人（実施率：28.7%）</p> <p>3 特定保健指導以外の保健指導</p> <p>(1) 重症化予防事業 健診受診者のうち、血圧、血糖、CKD（慢性腎臓病）、脂質のリスクが高い方を優先とし医療機関への受診勧奨及び保健指導を実施 対象者3,181人 実施者1,544人（実施率：48.5%）</p> <p>(2) 医療機関と地域保健の連携システム事業 健診受診者のうち、血圧、血糖が受診勧奨値で治療なしの方及び糖尿病性腎症のリスクが高い方（治療中）を優先に医療機関受診連絡書を送付し、主治医からの返信で受診確認と保健指導を実施</p> <table border="1"> <tr> <td>事業対象者</td> <td>医師からの連絡書返信者</td> <td>医師指示の保健指導対象者</td> <td>保健指導実施者</td> </tr> <tr> <td>968人</td> <td>588人（60.7%）</td> <td>130人（22.1%）</td> <td>121人（93.1%）</td> </tr> </table>					事業対象者	医師からの連絡書返信者	医師指示の保健指導対象者	保健指導実施者	968人	588人（60.7%）	130人（22.1%）	121人（93.1%）																																				
	事業対象者	医師からの連絡書返信者	医師指示の保健指導対象者	保健指導実施者																																													
968人	588人（60.7%）	130人（22.1%）	121人（93.1%）																																														
成 果	<p>新型コロナ感染予防に配慮し中止していた受診率向上対策を再開し受診率は上昇した。</p> <p>特定健康診査受診率</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">法定報告値</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>支払分実績</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>48.0%</td> <td>43.2%</td> <td>90.0%</td> <td>45.0%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>51.0%</td> <td>40.6%</td> <td>79.6%</td> <td>42.3%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>54.0%</td> <td>42.7%</td> <td>79.1%</td> <td></td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">法定報告値</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>支払分実績</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40.0%</td> <td>27.4%</td> <td>68.5%</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>45.0%</td> <td>27.1%</td> <td>60.2%</td> <td>24.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>50.0%</td> <td>28.7%</td> <td>57.4%</td> <td></td> </tr> </table> <p>*目標値は本市特定健康診査等実施計画による。</p>					区分	活動指標		達成率	法定報告値	目標	支払分実績	R1	48.0%	43.2%	90.0%	45.0%	R2	51.0%	40.6%	79.6%	42.3%	R3	54.0%	42.7%	79.1%		区分	成果指標		達成率	法定報告値	目標	支払分実績	R1	40.0%	27.4%	68.5%	25.6%	R2	45.0%	27.1%	60.2%	24.0%	R3	50.0%	28.7%	57.4%	
区分	活動指標		達成率	法定報告値																																													
	目標	支払分実績																																															
R1	48.0%	43.2%	90.0%	45.0%																																													
R2	51.0%	40.6%	79.6%	42.3%																																													
R3	54.0%	42.7%	79.1%																																														
区分	成果指標		達成率	法定報告値																																													
	目標	支払分実績																																															
R1	40.0%	27.4%	68.5%	25.6%																																													
R2	45.0%	27.1%	60.2%	24.0%																																													
R3	50.0%	28.7%	57.4%																																														
成果に係る評価	<p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染予防に配慮しながら受診率向上対策を再開し、受診率は改善傾向となった。</p> <p>一方、コロナ禍での医療機関の受診控え等もあり、健診結果では血糖値が高い方やメタボリックシンドローム該当者等の割合が増加している。被保険者の健康寿命の延伸を図るため、健診受診率向上対策、特定保健指導及び生活習慣病重症化予防事業に取り組み、生活習慣病の発症及び重症化予防を推進していく必要がある。</p>																																																
予算の執行状況	（単位：円）																																																
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																														
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																											
	134,278,000	132,470,070	73,648,000			58,822,070																																											

予算科目	4 款	保健事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																																							
	2 項	保健事業費		第4節	誰もが元気に暮らせる心と体の健康づくりの推進																																																							
	1 目	保健衛生普及費		(1)	健康づくりを推進する																																																							
担当課	保健福祉部保険年金課		中 事 業	保健衛生普及費（国民健康保険事業特別会計）																																																								
実施計画掲載ページ	P49		事 業 名	国民健康保険人間ドック等事業																																																								
目的及び事業内容	<p>生活習慣病をはじめとする疾病等の早期発見、予防及び治療の促進を図るとともに、生活習慣の改善や健康に対する意識の向上に寄与することを目的とする。</p> <p>人間ドックについては、国民健康保険に加入している40歳、45歳、50歳、55歳及び60歳を対象とし、脳ドックについては、45歳及び50歳を対象に実施する。また、人間ドックは、特定健康診査に関する項目の実施について、特定健康診査受診者としてその受診率に寄与する。</p>																																																											
取組実績	<p>1 人間ドック事業 対象者 1,565人 受診者 354人（受診率：22.6%）</p> <p>2 脳ドック事業 対象者 577人 受診者 111人（受診率：19.2%）</p> <p>3 保健指導（人間ドック受診者分）</p> <p>(1) 特定保健指導 対象者 77人 実施者 19人（実施率：24.7%）</p> <p>(2) 特定保健指導以外の生活習慣病重症化予防 対象者 67人 実施者 53人（実施率：79.1%）</p> <p>【年齢別受診率】</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">人間ドック</th> <th colspan="3">脳ドック</th> </tr> <tr> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> <th>対象者</th> <th>受診者</th> <th>受診率</th> </tr> <tr> <td>40歳</td> <td>255人</td> <td>60人</td> <td>23.5%</td> <td>264人</td> <td>48人</td> <td>18.2%</td> </tr> <tr> <td>45歳</td> <td>264人</td> <td>53人</td> <td>20.1%</td> <td>313人</td> <td>63人</td> <td>20.1%</td> </tr> <tr> <td>50歳</td> <td>313人</td> <td>64人</td> <td>20.4%</td> <td>315人</td> <td>75人</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>55歳</td> <td>315人</td> <td>75人</td> <td>23.8%</td> <td>418人</td> <td>102人</td> <td>24.4%</td> </tr> <tr> <td>60歳</td> <td>418人</td> <td>102人</td> <td>24.4%</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,565人</td> <td>354人</td> <td>22.6%</td> <td>577人</td> <td>111人</td> <td>19.2%</td> </tr> </table>					区分	人間ドック			脳ドック			対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率	40歳	255人	60人	23.5%	264人	48人	18.2%	45歳	264人	53人	20.1%	313人	63人	20.1%	50歳	313人	64人	20.4%	315人	75人	23.8%	55歳	315人	75人	23.8%	418人	102人	24.4%	60歳	418人	102人	24.4%				合計	1,565人	354人	22.6%	577人	111人	19.2%
	区分	人間ドック			脳ドック																																																							
対象者		受診者	受診率	対象者	受診者	受診率																																																						
40歳	255人	60人	23.5%	264人	48人	18.2%																																																						
45歳	264人	53人	20.1%	313人	63人	20.1%																																																						
50歳	313人	64人	20.4%	315人	75人	23.8%																																																						
55歳	315人	75人	23.8%	418人	102人	24.4%																																																						
60歳	418人	102人	24.4%																																																									
合計	1,565人	354人	22.6%	577人	111人	19.2%																																																						
成 果	<p>生活習慣病をはじめとする疾病の早期発見及び治療の促進に寄与した。</p> <p>人間ドック受診率</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>30.0%</td> <td>24.2%</td> <td>80.7%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>30.0%</td> <td>21.4%</td> <td>71.3%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>30.0%</td> <td>22.6%</td> <td>75.3%</td> </tr> </table> <p>脳ドック受診率</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">活動指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>26.0%</td> <td>20.9%</td> <td>80.4%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>26.0%</td> <td>19.5%</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>26.0%</td> <td>19.2%</td> <td>73.8%</td> </tr> </table> <p>特定保健指導実施率（人間ドック受診者分）</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">成果指標</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標※1</th> <th>実績</th> </tr> <tr> <td>R1</td> <td>40.0%</td> <td>29.7%</td> <td>74.3%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>45.0%</td> <td>20.0%</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>50.0%</td> <td>24.7%</td> <td>49.4%</td> </tr> </table> <p>※1：本市特定健康診査等実施計画目標値</p>					区分	活動指標		達成率	目標	実績	R1	30.0%	24.2%	80.7%	R2	30.0%	21.4%	71.3%	R3	30.0%	22.6%	75.3%	区分	活動指標		達成率	目標	実績	R1	26.0%	20.9%	80.4%	R2	26.0%	19.5%	75.0%	R3	26.0%	19.2%	73.8%	区分	成果指標		達成率	目標※1	実績	R1	40.0%	29.7%	74.3%	R2	45.0%	20.0%	44.4%	R3	50.0%	24.7%	49.4%	
区分	活動指標		達成率																																																									
	目標	実績																																																										
R1	30.0%	24.2%	80.7%																																																									
R2	30.0%	21.4%	71.3%																																																									
R3	30.0%	22.6%	75.3%																																																									
区分	活動指標		達成率																																																									
	目標	実績																																																										
R1	26.0%	20.9%	80.4%																																																									
R2	26.0%	19.5%	75.0%																																																									
R3	26.0%	19.2%	73.8%																																																									
区分	成果指標		達成率																																																									
	目標※1	実績																																																										
R1	40.0%	29.7%	74.3%																																																									
R2	45.0%	20.0%	44.4%																																																									
R3	50.0%	24.7%	49.4%																																																									
成果に係る評価	<p>令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大により人間ドック及び脳ドック受診率並びに人間ドック受診者の特定保健指導実施率すべてが低下したが、令和3年度は市報等でのコロナ禍における健康課題の周知や健康ポイント事業の再開、健診結果に基づく保健指導を積極的に行うことで、脳ドック受診率以外には改善傾向となった。</p> <p>人間ドック及び脳ドック事業は、継続的な健診受診のきっかけづくりや生活習慣病等の早期発見、治療、発症及び重症化予防に寄与しており、特に40歳で初めて健診を受診した方には、健診結果の見方や経年での健診受診の必要性等を全員に伝えている。今後も受診結果による保健指導や医療機関への受診勧奨を積極的に実施していく必要がある。</p>																																																											
予算の執行状況	（単位：円）																																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																																									
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																																						
	19,973,152	13,929,935				13,929,935																																																						

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	介護予防・生活支援サービス事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実	
	1 目	介護予防・生活支援サービス事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する	
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	機能訓練訪問事業費（介護保険事業特別会計）		
実施計画掲載ページ	P50		事 業 名	機能訓練訪問事業		
目的及び事業内容	<p>体力の改善に向けた支援が必要なケースや、日常生活動作等の改善に向けた支援が必要なケースに対し、理学療法士と連携しながら、看護師等が在宅にて短期集中的に相談・指導を行い、身体状況の改善を図る。</p>					
取組実績	<p>地域包括支援センターが作成した介護予防プランに基づき、日常生活動作等の改善に向けた支援について、理学療法士及び看護師が連携しながら、在宅にて短期集中的（3～6か月）に相談・指導を実施した。</p>					
成 果	<p>理学療法士の専門的な指導により、痛みの軽減等の身体機能が向上し、外出できるまでに回復するなど、生活機能の向上等が図られた。</p>					
成果に係る評価	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、自宅訪問を望まない方がおり、訪問実人数の増加はみられなかった。 介護サービスの事業所が少ない離半島部地区では、本事業によって高齢者の機能低下を防止し、いつまでも住み慣れた地域での生活を維持することに寄与した。</p>					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入
	2,501,000	794,375	351,844		313,778	128,753

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち	
	1 項	介護予防・生活支援サービス事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実	
	1 目	介護予防・生活支援サービス事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する	
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	通所型サービス支援事業費（介護保険事業特別会計）		
実施計画掲載ページ	P52		事 業 名	通所型サービス支援事業		
目的及び事業内容	<p>要支援者及び事業対象者に対し、集会所等を利用し、体操や運動の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくりとしての通所型サービスを提供することにより、高齢者等の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び介護予防並びに地域の支え合い体制を推進する。</p>					
取組実績	<p>個人又は団体が集会所等を利用し、要支援者等を中心に障害者、子供、高齢者に対し、体操や運動の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的なサロン等の通所型のサービスを提供することとし以下の条件に該当する場合に補助金を交付した。</p> <p>補助金交付条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業を6か月以上継続して実施 ・概ね週1回以上実施 ・1回当たりの事業実施時間が概ね2時間以上 ・1回当たりの平均利用者のうち要支援者等が5人以上であること。 ・要支援者等の利用者1人当たり1回1,000円、月額上限50,000円 					
成 果	<p>要支援者等に対し住民主体による通所型サービスが可能となり、高齢者の健康保持、介護予防が図られた。 実施地区は介護サービスも少ないため、この事業により、高齢者の介護予防、震災後のコミュニティ形成、地域の支え合い体制づくりに寄与した。</p>					
成果に係る評価	<p>この事業はケアプランに基づき、国の基準に従って実施する事業であることに加え、実施主体となるボランティア等の人材が少ないことから1団体の実施に留まっているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施しながら、生活不活発による高齢者の身体機能低下・認知機能低下などの予防に寄与した。 今後もサロン団体等への事業実施の働きかけや、事業の周知を図りながら、地域の支え合い体制の構築と本事業に対する需要に応えるため事業を継続していく。</p>					
（単位：円）						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入
	1,812,000	595,000	263,538		235,025	96,437

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																						
	2 項	一般介護予防事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																						
	1 目	一般介護予防事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																						
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	「食」の自立支援事業費（介護保険事業特別会計）																																							
実施計画掲載ページ	P52		事 業 名	「食」の自立支援事業																																							
目的及び事業内容	一人暮らし高齢者等で日常の食生活において支援が必要な方に対し、生活の質の向上を図るため、配食サービスを提供し、併せて利用者の安否確認を行う。																																										
取組実績	<p>1 独居又は高齢者のみの世帯に対し、食事を配達し、併せて利用者の安否確認を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者1人当たり週7回を限度とする。 ・1食（810円）につき、利用者が400円、市が410円を負担する。 <p>2 事業利用者の地域的偏りを是正するため、登録事業者の年度更新に併せ、新規登録事業者の募集を行った。</p>																																										
成 果	<p>独居又は高齢者のみの世帯に対し、地域の社会資源を活用した配食サービスを提供し、併せて安否確認を行ったことにより、高齢者の食生活の改善が図られ、暮らしの中で安心を得ることができた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">利用実人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">利用延べ食数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th rowspan="2">委託事業者</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>160人</td> <td>142人</td> <td>88.8%</td> <td>25,800食</td> <td>21,921食</td> <td>85.0%</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>160人</td> <td>156人</td> <td>97.5%</td> <td>25,800食</td> <td>25,307食</td> <td>98.1%</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>160人</td> <td>189人</td> <td>118.1%</td> <td>25,800食</td> <td>26,981食</td> <td>104.6%</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>							年度	利用実人数		達成率	利用延べ食数		達成率	委託事業者	目標値	実績	目標値	実績	R1	160人	142人	88.8%	25,800食	21,921食	85.0%	4	R2	160人	156人	97.5%	25,800食	25,307食	98.1%	5	R3	160人	189人	118.1%	25,800食	26,981食	104.6%	5
年度	利用実人数		達成率	利用延べ食数		達成率	委託事業者																																				
	目標値	実績		目標値	実績																																						
R1	160人	142人	88.8%	25,800食	21,921食	85.0%	4																																				
R2	160人	156人	97.5%	25,800食	25,307食	98.1%	5																																				
R3	160人	189人	118.1%	25,800食	26,981食	104.6%	5																																				
成果に係る評価	<p>調理等が十分にできない一人暮らしや高齢者のみの市民税非課税の世帯に対し、栄養バランスの取れた食事の提供と安否確認を行うことで、住み慣れた自宅での生活が継続できた。 配食区域を市内全域（離島を除く）としている事業者もあるが、配食区域を拡大して更に利用しやすい事業とするため、広く事業の周知を図り、新規サービス事業者の参入を促していく。</p>																																										
(単位：円)																																											
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																								
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																					
	11,100,210	11,081,432	4,908,185		4,377,166	1,796,081																																					

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																													
	2 項	一般介護予防事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																													
	1 目	一般介護予防事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する																													
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	訪問指導員事業費（介護保険事業特別会計）																														
実施計画掲載ページ	P52		事 業 名	訪問型介護予防事業																														
目的及び事業内容	<p>療養上の保健指導が必要と認められる高齢者等に対し、訪問指導員が訪問し、必要な相談・指導を行うことにより、心身機能の低下防止と健康の保持増進を図る。 対象者は、市内に住所を有し、次の項目のいずれかに該当する65歳以上の方である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉じこもり、認知症、うつ等のおそれのある方又はこれらの状態にある方 ・健康診査等で健康管理上訪問指導が必要と認められる方 ・要支援又は要介護の認定を受けている方 																																	
取組実績	<p>地域包括支援センター等が作成した介護予防プラン等に基づき、以下の指導等を行った。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 介護予防 <ul style="list-style-type: none"> 栄養指導、口腔体操、体操 2 要介護状態の軽減・悪化防止 <ul style="list-style-type: none"> 健康チェック、服薬指導、病気や認知症の観察 3 家庭における療養方法 <ul style="list-style-type: none"> 日常生活（食事、運動、排せつ、受診の有無等）を確認し指導、精神的支援（傾聴） 4 家庭における機能訓練の方法、住宅改修及び福祉用具の使用方法 <ul style="list-style-type: none"> 運動指導、日常生活動作の確認と指導 5 生活習慣病の予防 <ul style="list-style-type: none"> 喫煙や飲酒状態の確認と指導、運動・体重・睡眠・食事量の状態の確認と指導 疾病の悪化予防として、服薬確認、受診のすすめ等 																																	
成 果	<p>訪問指導員による個別相談・指導を行い、心身機能の低下防止及び健康の保持増進が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">訪問実人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th>訪問延べ回数</th> <th rowspan="2">訪問指導員</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>120人</td> <td>101人</td> <td>84.2%</td> <td>1,394回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>120人</td> <td>99人</td> <td>82.5%</td> <td>1,351回</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>120人</td> <td>96人</td> <td>80.0%</td> <td>1,318回</td> <td>4人</td> </tr> </tbody> </table>							年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数	訪問指導員	目標値	実績	実績	R1	120人	101人	84.2%	1,394回	4人	R2	120人	99人	82.5%	1,351回	4人	R3	120人	96人	80.0%	1,318回	4人
年度	訪問実人数		達成率	訪問延べ回数	訪問指導員																													
	目標値	実績		実績																														
R1	120人	101人	84.2%	1,394回	4人																													
R2	120人	99人	82.5%	1,351回	4人																													
R3	120人	96人	80.0%	1,318回	4人																													
成果に係る評価	<p>高齢者やその家族に対する相談、指導等により、対象者の心身の機能低下の防止が図られた。 経済的に余裕がなく他のサービスを受けられない対象者に加えて、半島地区等利用できる介護保険サービス事業所が少ない地域の高齢者からの需要に対応することができた。</p>																																	
(単位：円)																																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																															
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																												
	11,909,000	11,489,793	5,089,056		4,538,468	1,862,269																												

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																
	2 項	一般介護予防事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																
	1 目	一般介護予防事業費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する																
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	ミニデイサービス支援事業費（介護保険事業特別会計）																	
実施計画掲載ページ	P63		事 業 名	ミニデイサービス支援事業																	
目的及び事業内容	高齢者を対象に、地域の集会所・家屋等を利用しながら、小規模にデイサービス事業等の福祉サービスを提供する個人又は団体に対し、補助金を交付する。																				
取組実績	1 補助金額 利用者1人当たり1回の利用：1,180円 補助金交付額：6,409,760円																				
	2 利用件数 交付対象団体：9団体 延利用者数：5,432人																				
	3 補助金交付要件の緩和 新型コロナウイルス感染症の影響により、高齢者の心身機能低下、社会的孤立の深刻化等が危惧されたことから、感染対策を徹底した上での事業継続を支援するため、前年度に引き続き、実施回数や利用者数等の下限を下回った場合においても補助対象とする要件緩和を行った。																				
成 果	4 補助金交付件数																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>団体数</th> <th>延利用者数</th> <th>補助金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>10 団体</td> <td>6,783 人</td> <td>8,003,940 円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10 団体</td> <td>5,268 人</td> <td>6,216,240 円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>9 団体</td> <td>5,432 人</td> <td>6,409,760 円</td> </tr> </tbody> </table>					年度	団体数	延利用者数	補助金額	R1	10 団体	6,783 人	8,003,940 円	R2	10 団体	5,268 人	6,216,240 円	R3	9 団体	5,432 人	6,409,760 円
	年度	団体数	延利用者数	補助金額																	
R1	10 団体	6,783 人	8,003,940 円																		
R2	10 団体	5,268 人	6,216,240 円																		
R3	9 団体	5,432 人	6,409,760 円																		
新型コロナウイルス感染症の影響により、交付団体数が減少したが、利用者数は前年度よりやや増加している。前年度に引き続き交付要件を緩和し、サービス提供事業者に補助金を交付したことにより、継続した事業運営が可能となった。また、サービス利用者についても、ミニデイサービスを利用することで心身機能の維持や介護予防の意識向上が図られた。																					
成果に係る評価	実績額は、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、前年度よりやや増加している。震災及び新型コロナウイルス感染症の影響で、生活環境が変化し、高齢者の社会的孤立の解消がより必要となっているが、地域での身近な小規模デイサービスを提供する事業者等に対して補助金を交付することにより、きめ細やかな福祉サービスを提供し、在宅高齢者の心身機能の維持、向上及び積極的な社会参加を図ることができた。本事業は、孤立の解消やフレイル予防の上で重要な役割を果たしていることから、今後も事業を継続する必要がある。																				
(単位：円)																					
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																		
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入															
	9,861,000	6,409,760	2,839,009		2,531,855	1,038,896															

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																															
	2 項	一般介護予防事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																															
	1 目	一般介護予防事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する																															
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	通所型介護予防事業費（介護保険事業特別会計）																																
実施計画掲載ページ	P51		事 業 名	通所型介護予防事業																																
目的及び事業内容	65歳以上の高齢者が、運動機能の向上や口腔機能の改善等の介護予防全般について専門職から学び、各自が生活の活動性を高めることで要介護状態等になることを予防するとともに、介護予防に資する自発的な活動が広く実施できるよう介護予防の啓発、普及等を図る。(介護予防はつらつ元氣教室、地域介護予防教室、いきいき100歳体操普及事業)																																			
取組実績	1 介護予防はつらつ元氣教室 運動機能向上のほか栄養改善及び口腔機能向上等を実施することにより、生活機能低下の防止につなげる。また、教室終了後も自主的に活動できるよう住民主体の通いの場を創出する。 (1)実施回数 60回 (12会場5回コース) (2)参加人数 513人																																			
	2 地域介護予防教室 各地域包括支援センターに委託し、地域の高齢者を対象に気軽に参加出来る介護予防教室を実施した。(運動機能向上、腰痛、口腔機能向上、栄養改善、生きがいづくり支援・閉じこもり予防、認知症・うつ予防) (1)実施回数 177回 (2)参加人数 2,032人																																			
	3 いきいき100歳体操サポーター養成講座 専門スタッフによるいきいき100歳体操の実施及び自主活動に向けた支援を行った。 (1)実施回数 5回コース1回 (2)参加人数 51人																																			
成 果	4 いきいき100歳体操立上げ支援事業 (1)実施希望サロン団体 7団体 12回 137人																																			
	専門知識を有する業者へ委託し、高齢者への介護予防全般の普及啓発が図られた。コロナ禍で地域介護予防教室では地域の要望を取り入れながら権利擁護、総合相談等も実施し、生活機能低下の防止、介護予防の意識付けをすることができた。本事業を実施することで、高齢者自ら日常生活において自身にあった介護予防を実施し、生活機能の低下の防止に対する意識付けができています。																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">開催回数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">参加延べ人数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>419回</td> <td>395回</td> <td>94.3%</td> <td>6,190人</td> <td>5,899人</td> <td>95.3%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>420回</td> <td>215回</td> <td>51.2%</td> <td>6,200人</td> <td>2,665人</td> <td>43.0%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>393回</td> <td>254回</td> <td>64.6%</td> <td>5,790人</td> <td>2,733人</td> <td>47.2%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	開催回数		達成率	参加延べ人数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R1	419回	395回	94.3%	6,190人	5,899人	95.3%	R2	420回	215回	51.2%	6,200人	2,665人	43.0%	R3	393回	254回	64.6%	5,790人	2,733人
年度	開催回数		達成率	参加延べ人数			達成率																													
	目標値	実績		目標値	実績																															
R1	419回	395回	94.3%	6,190人	5,899人	95.3%																														
R2	420回	215回	51.2%	6,200人	2,665人	43.0%																														
R3	393回	254回	64.6%	5,790人	2,733人	47.2%																														
成果に係る評価	本事業を実施することで、高齢者自ら日常生活において自身にあった介護予防を実施し、生活機能の低下の防止に対する意識付けができています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施会場や回数を減らしたものの、内容を工夫しながら実施した。地域包括支援センター、生活支援コーディネーター等と連携し、参加した高齢者が自主的に介護予防活動を継続して実施できるよう支援していく必要がある。																																			
(単位：円)																																				
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																	
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																														
	17,118,000	10,550,335	4,672,952		4,167,382	1,710,001																														

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
	2 項	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実		
	1 目	一般介護予防事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する		
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	地域リハビリテーション活動支援事業費(介護保険事業特別会計)			
実施計画掲載ページ	P53		事 業 名	地域リハビリテーション活動支援事業			
目的及び事業内容	在宅で介護予防のためのリハビリテーション支援が必要な個人及び住民主体による自主活動を行っている団体等に対し、リハビリ専門職を派遣し個別訪問、集団運動指導及びリハビリテーション相談を行うことにより、地域における介護予防の取組を強化する。						
取組実績	<p>1 個別訪問 リハビリテーション支援が必要な方を訪問し、個別の運動プログラムや住宅環境の改善、福祉用具の利活用等に関する相談や指導を行った。</p> <p>2 集団運動指導 サロン活動等において、健康づくりのための安全で効果的な運動指導やリハビリテーションに関する相談を実施した。 また、新型コロナウイルス蔓延による外出自粛対策として、フレイル予防効果のある運動指導や感染予防対策指導を行った。</p>						
成 果	リハビリテーションサービスを提供している9事業所と連携し、個別訪問及び集団運動指導を実施したことで、高齢者の介護予防の取組の強化が図られた。						
	年度	個別訪問		集団運動指導		リハビリテーション相談	
		訪問数	利用実人数	実施回数	利用実人数	実施回数	利用実人数
	R1	6件	6人	46回	753人	4回	52人
R2	17件	16人	24回	297人	集団運動指導へ集約		
R3	7件	6人	23回	275人	集団運動指導へ集約		
成果に係る評価	高齢者の介護予防を図るために、リハビリ専門職の専門的な助言や指導を必要とする地域住民およびサロンなどの集いの場にリハビリ専門職を派遣し、相談対応やサロン活動に効果的な運動指導を実施したことで、介護予防の取組を進めることができた。 引き続き、地域包括支援センターやケアマネジャー等との連携を図りながら、高齢者が自立した生活が送れるよう、効果的な介護予防活動につなげていく。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入	
	682,000	243,888	108,023		96,336	39,529	

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第 3 章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち			
	2 項	一般介護予防事業費		第 2 節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実			
	1 目	一般介護予防事業費		(2)	介護予防等の取組を推進する			
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事 業	地域介護予防活動支援事業費(介護保険事業特別会計)				
実施計画掲載ページ	P53		事 業 名	地域介護予防活動支援事業				
目的及び事業内容	高齢者等を対象とした日中の居場所づくり、定期的なサロン等の通いの場を提供する住民主体による自主的活動を支援するとともに、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び介護予防、地域の支え合い体制づくりの推進を目的とする。							
取組実績	<p>個人又は団体が集会所等を利用し、高齢者を中心に障害者、子ども等に対し、体操、運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的なサロン等の通所型のサービスを提供することとし、以下の条件に該当する場合に補助金を交付した。</p> <p>補助金交付条件 ・事業を6か月以上継続して実施 ・月2回以上実施 ・1回当たりの事業実施時間が概ね2時間以上 ・1回当たりの平均利用者のうち65歳以上の高齢者が5人以上であること。 ・1回当たり1,000円、月額上限10,000円とする。</p>							
成 果	補助金を交付することにより、会場費等必要経費の自己負担の軽減及び活動内容の充実が図られた。また、地域包括支援センターや生活支援コーディネーターが連携して支援することにより、高齢者の日中の居場所づくりにつながった。							
	年度	目標値	交付対象団体	達成率	目標値	登録人数	達成率	補助金交付額
	R1	50団体	42団体	84.0%	900人	875人	97.2%	2,134,000円
	R2	50団体	28団体	56.0%	900人	567人	63.0%	1,404,000円
R3	55団体	27団体	49.1%	990人	522人	52.7%	1,458,000円	
成果に係る評価	地域のサロン活動団体等に対し、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターなどを通じた事業の周知を図るとともに、活動報告書作成等の事務においても支援が行われた。またホームページ掲載による周知を図り、事業の活用につなげた。 サロン活動は、高齢者の社会的孤立の解消、心身の健康保持及び介護予防に効果的なため、各団体等が活動を継続できるよう、事業の周知を図ることに加え、より効果的な月2回の活動への啓発や支援も引き続き行っていく。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入		
	2,945,790	1,476,994	654,190		583,412	239,392		

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																			
	3 項	包括的支援事業・任意事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																			
	3 目	任意事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																			
担当課	保健福祉部介護福祉課		中事業	介護用品支給事業費（介護保険事業特別会計）																																				
実施計画掲載ページ	P51		事業名	介護用品支給事業																																				
目的及び事業内容	<p>市内に住所を有し、世帯全員が市民税非課税で、介護認定を受けた65歳以上の高齢者を在宅で介護している家族に対し、紙おむつ等を購入できる介護用品支給券を支給することにより、家族の身体的、精神的及び経済的負担の軽減並びに高齢者の在宅生活の継続及び向上を図る。</p> <p>支給額：要支援1～要介護3 月額2,000円 要介護4～要介護5 月額5,000円</p>																																							
取組実績	<p>1 介護用品支給券の支給 (1) 令和2年度該当者に対し、令和3年度分の申請助奨をすとともに、ケアマネジャーによる周知やチラシ配布等により、新規対象者の把握に努めた。 (2) 申請に対し、該当・非該当の決定をし、該当者に対しては介護用品支給券を交付した。</p> <p>2 支給対象品目 (1) 要支援1～要介護3 紙おむつ及び尿取りパッド (2) 要介護4～要介護5 紙おむつ、尿取りパッド、使い捨て手袋、清拭剤及びドライシャンプー</p>																																							
成果	<p>在宅で介護をしている家族の負担軽減が図られた。 また、申請件数の増加に伴い、該当者数・支払実績ともに前年度と比較し増加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">介護用品支給券実績</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>2,000円券</th> <th>5,000円券</th> <th>計</th> <th>目標値</th> <th>達成率</th> <th>支払実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>266人</td> <td>156人</td> <td>422人</td> <td>500人</td> <td>84.4%</td> <td>10,503,315円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>243人</td> <td>154人</td> <td>397人</td> <td>500人</td> <td>79.4%</td> <td>10,478,678円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>270人</td> <td>149人</td> <td>419人</td> <td>500人</td> <td>83.8%</td> <td>10,491,521円</td> </tr> </tbody> </table>					介護用品支給券実績							年度	2,000円券	5,000円券	計	目標値	達成率	支払実績	R1	266人	156人	422人	500人	84.4%	10,503,315円	R2	243人	154人	397人	500人	79.4%	10,478,678円	R3	270人	149人	419人	500人	83.8%	10,491,521円
介護用品支給券実績																																								
年度	2,000円券	5,000円券	計	目標値	達成率	支払実績																																		
R1	266人	156人	422人	500人	84.4%	10,503,315円																																		
R2	243人	154人	397人	500人	79.4%	10,478,678円																																		
R3	270人	149人	419人	500人	83.8%	10,491,521円																																		
成果に係る評価	<p>要支援者及び要介護者を在宅で介護する家族の身体的、精神的及び経済的負担等の軽減が図られた。今後も市民・ケアマネジャー等への周知を行い、在宅で介護する方々への支援を継続する必要がある。</p>																																							
(単位：円)																																								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																		
	12,469,000	10,567,263	6,364,141		2,034,198	2,168,924																																		

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																								
	3 項	包括的支援事業・任意事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																								
	3 目	任意事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																								
担当課	保健福祉部介護福祉課		中事業	高齢者世話付住宅事業費（介護保険事業特別会計）																									
実施計画掲載ページ	P50		事業名	高齢者世話付住宅事業																									
目的及び事業内容	<p>県営石巻渡波住宅に設置されている高齢者世話付住宅（シルバーハウジング）に生活援助員を派遣し、居住している高齢者に対し、生活相談、生活指導、安否確認、一時的な家事援助及び緊急時の対応等のサービスを実施する。</p>																												
取組実績	<p>1 シルバーハウジング入居者に対し、生活援助員として2名（常駐1名）を派遣し、生活指導、相談対応、安否確認、一時的な家事援助、緊急時の対応等を行った。 2 委託業者による休日、早期及び夜間の緊急通報対応業務を行った。</p>																												
成果	<p>生活援助員の活動や緊急通報システム等の設備により、入居者が自立して安全かつ快適な生活を営むことができるよう、在宅生活の支援が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>設置戸数</th> <th>入居戸数</th> <th>入居率</th> <th>入居者実人員</th> <th>派遣人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>10戸</td> <td>7戸</td> <td>70.0%</td> <td>9人</td> <td>2人(常駐1人)</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>10戸</td> <td>7戸</td> <td>70.0%</td> <td>9人</td> <td>2人(常駐1人)</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>10戸</td> <td>7戸</td> <td>70.0%</td> <td>9人</td> <td>2人(常駐1人)</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※各年度3月末日現在</p>					年度	設置戸数	入居戸数	入居率	入居者実人員	派遣人員	R1	10戸	7戸	70.0%	9人	2人(常駐1人)	R2	10戸	7戸	70.0%	9人	2人(常駐1人)	R3	10戸	7戸	70.0%	9人	2人(常駐1人)
年度	設置戸数	入居戸数	入居率	入居者実人員	派遣人員																								
R1	10戸	7戸	70.0%	9人	2人(常駐1人)																								
R2	10戸	7戸	70.0%	9人	2人(常駐1人)																								
R3	10戸	7戸	70.0%	9人	2人(常駐1人)																								
成果に係る評価	<p>生活援助員を派遣し、日常生活の支援や安否確認等を行うことにより、単身高齢者や高齢夫婦のみの入居者が、地域の中で自立して生活していく上での不安や孤立感の解消が図られている。今後も、入居者が安全・安心かつ快適な生活を営むことができるよう、住宅を管理する宮城県住宅供給公社や地域包括支援センター等関係機関と連携しながら事業を継続していく。</p>																												
(単位：円)																													
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																										
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																							
	2,717,000	2,684,282	1,580,575		504,712	598,995																							

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																														
	3 項	包括的支援事業・任意事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																														
	3 目	任意事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																														
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事業	成年後見制度利用支援事業費（介護保険事業特別会計）																															
実施計画掲載ページ	P64		事業名	成年後見制度利用支援事業																															
目的及び事業内容	<p>認知症等によって、物事を判断する能力が十分ではない高齢者のうち、身寄りがいないなどの理由で、審判の期待ができない方について、市長が家庭裁判所に対して成年後見、保佐及び補助の開始に係る審判の請求等を行い、本人の権利を守る援助者（後見人、保佐人、補助人）を選任することにより、適切な財産管理と身上の保護を図る。</p> <p>併せて、経済的に支援を受けなければ成年後見制度の利用が困難な状況にある者に対しては、報酬の助成を行うことで、制度利用継続の支援を図る。</p>																																		
取組実績	<p>1 市長による成年後見等の開始に係る審判請求</p> <p>地域包括支援センター等の相談支援機関から成年後見制度に関する相談を受け、必要に応じて家庭裁判所に対して成年後見等の開始に係る審判の請求を行った。</p> <p>【成年後見制度の類型】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事理を弁識する能力を欠く常況にある者（成年後見） ・ 事理を弁識する能力が著しく不十分である者（保佐） ・ 事理を弁識する能力が不十分である者（補助） <p>2 成年後見人等への報酬に関する助成</p> <p>成年後見人等への報酬支払いが困難な成年後見人等に対して助成を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象者：生活保護受給者、助成を受けなければ成年後見人等への報酬支払いが困難な者 ・ 助成上限額（月額）：在宅生活者＝28,000円、施設入所者＝18,000円 <p>3 実績（福祉総務課・虐待防止センター合算分）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">成年後見制度市長申立</th> <th colspan="3">成年後見人等報酬の助成</th> </tr> <tr> <th>年度</th> <th>相談件数</th> <th>申立件数</th> <th>類型内訳</th> <th>助成件数</th> <th>助成金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>9件</td> <td>4件</td> <td>後見：3件 保佐：1件</td> <td>10件</td> <td>2,429,489円</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>7件</td> <td>2件</td> <td>後見：1件 補助：1件</td> <td>9件</td> <td>2,066,000円</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>26件</td> <td>12件</td> <td>後見：11件 保佐：1件</td> <td>9件</td> <td>2,200,000円</td> </tr> </tbody> </table>					成年後見制度市長申立			成年後見人等報酬の助成			年度	相談件数	申立件数	類型内訳	助成件数	助成金額	R1	9件	4件	後見：3件 保佐：1件	10件	2,429,489円	R2	7件	2件	後見：1件 補助：1件	9件	2,066,000円	R3	26件	12件	後見：11件 保佐：1件	9件	2,200,000円
	成年後見制度市長申立			成年後見人等報酬の助成																															
	年度	相談件数	申立件数	類型内訳	助成件数	助成金額																													
R1	9件	4件	後見：3件 保佐：1件	10件	2,429,489円																														
R2	7件	2件	後見：1件 補助：1件	9件	2,066,000円																														
R3	26件	12件	後見：11件 保佐：1件	9件	2,200,000円																														
成果	<p>地域包括支援センター等の相談支援機関から相談を受け、必要に応じて家庭裁判所に対して成年後見、保佐及び補助の開始に係る審判の請求等を行うことで、判断能力が十分ではない高齢者の福祉の増進が図られた。</p> <p>併せて、経済的理由から成年後見人等への報酬の支払いが困難な成年後見人等に助成を行い、制度利用継続を支援することができた。</p> <p>また、成年後見制度の利用促進に向けた体制を整備するため、専門職団体（弁護士会、司法書士会、社会福祉士会）、家庭裁判所との情報共有や意見交換を行うことを目的とした会議体である、石巻市成年後見制度利用促進会議の設置に関する協議を庁内で行った。なお、同会議については、令和4年度中に開催する予定である。</p>																																		
成果に係る評価	<p>認知症などにより物事を判断する能力が十分ではない高齢者は、今後増加していくことが見込まれる。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響から家に閉じこもりがちになることで、表面化しない認知症高齢者が潜在的に増加していくことも想定される。このような高齢者が地域の中で埋もれないよう迅速かつ的確な支援を実現するため、事業を継続する必要がある。</p> <p>今後は、地域ケア会議や石巻市成年後見制度利用促進会議といった会議体を活用し、関係者間で成年後見制度の利用促進を含む権利擁護支援の地域連携ネットワークを構築することにより、更なる周知を図ることで高齢者の権利擁護支援の一助として充実させていく。</p>																																		
（単位：円）																																			
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																													
	4,194,000	2,592,923	1,548,523		494,782	549,618																													

予算科目	4 款	地域支援事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち																																	
	3 項	包括的支援事業・任意事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実																																	
	5 目	認知症総合支援事業費		(3)	高齢者の生活支援を推進する																																	
担当課	保健福祉部介護福祉課		中 事業	認知症総合支援事業費（介護保険事業特別会計）																																		
実施計画掲載ページ	P53		事業名	認知症総合支援事業																																		
目的及び事業内容	<p>認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、認知症の人やその家族を支援することを目的とする。</p> <p>認知症の疑われる人やその家族に対して早期にかかわる支援チームを配置し、早期診断・早期対応に向けた認知症初期集中支援推進事業を実施。また、各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、支援ネットワークの構築や「認知症の人の状態に応じた適切なサービス提供の流れ」をまとめた認知症ケアパスの活用、認知症カフェなどを実施し、認知症の人やその家族への支援を行う。その他、認知症についての普及・啓発のため認知症講演会等を開催。</p>																																					
取組実績	<p>1 認知症初期集中支援推進事業</p> <p>(1) チーム会議開催回数 12回</p> <p>(2) 相談件数 18件</p> <p>(3) アウトリーチ件数 1件</p> <p>2 認知症講演会</p> <p>(1) 内容 演題「支えがあるから安心できる～コロナ禍で認知症について考える～」</p> <p>講師：東京都健康長寿医療センター 栗田 圭一 氏</p> <p>(2) 参加者数 101名</p> <p>(3) 回数 1回/年</p> <p>3 認知症ケアパスの見直し、当事者向け認知症ケアパスの作成</p> <p>(1) 配布先 認知症講演会参加者、地域包括支援センター相談者等</p> <p>(2) 配布開始 平成28年7月から</p> <p>(3) R3配布(作成) 2,000部</p> <p>4 認知症簡易チェックサイト アクセス数：1,762回</p> <p>5 認知症カフェ</p> <p>(1) 対象 当事者、介護者、支援者等、地域住民</p> <p>(2) 会場 7か所（市内集会所等）</p> <p>(3) 回数 延べ33回</p> <p>(4) 参加者数 延べ259名</p>																																					
	成果	<p>本人への支援及び家族の負担軽減を目的とし、助言やアウトリーチ等により初期の段階で専門機関につなぐことができた。必要時、相談につなげられるよう、地域包括支援センター及び居宅介護支援事業所等への周知を行った。また、各地域包括支援センターに認知症地域支援専門員を配置しており、認知症の方へのサポート体制が整ってきている。認知症カフェについては、コロナ禍で開催自粛傾向であったが、会場を変更したり、外で開催するなど検討し、再開し始めており開催回数、参加者数も増加した。</p> <p>認知症初期集中支援推進事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th colspan="2">開催回数</th> <th rowspan="2">達成率</th> <th colspan="2">相談件数</th> <th rowspan="2">達成率</th> </tr> <tr> <th>目標値</th> <th>実績</th> <th>目標値</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R1</td> <td>12回</td> <td>11回</td> <td>91.7%</td> <td>55人</td> <td>17人</td> <td>30.9%</td> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>100.0%</td> <td>55人</td> <td>20人</td> <td>36.4%</td> </tr> <tr> <td>R3</td> <td>14回</td> <td>12回</td> <td>85.7%</td> <td>60人</td> <td>18人</td> <td>30.0%</td> </tr> </tbody> </table>					年度	開催回数		達成率	相談件数		達成率	目標値	実績	目標値	実績	R1	12回	11回	91.7%	55人	17人	30.9%	R2	12回	12回	100.0%	55人	20人	36.4%	R3	14回	12回	85.7%	60人	18人	30.0%
	年度	開催回数		達成率	相談件数			達成率																														
目標値		実績	目標値		実績																																	
R1	12回	11回	91.7%	55人	17人	30.9%																																
R2	12回	12回	100.0%	55人	20人	36.4%																																
R3	14回	12回	85.7%	60人	18人	30.0%																																
成果に係る評価	<p>認知症高齢者は、年々増加傾向にあることから、今後も引き続き関係機関と連携し、本人、家族への早期の支援を行うとともに、認知症の方が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、地域住民への理解・啓発促進に努める必要がある。</p>																																					
（単位：円）																																						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳																																			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入																																
	11,549,000	10,350,550	6,488,508		1,992,481	1,869,561																																

予算科目	5 款	保健福祉事業費	総合計画	第3章	共に支え合い誰もが生きがいを持ち自分らしく健康に暮らせるまち		
	1 項	保健福祉事業費		第2節	生きがいを持ち自分らしく暮らせる高齢者福祉の充実		
	1 目	保健福祉事業費		(1)	高齢者の生きがいづくりを推進する		
担当課	保健福祉部介護福祉課		中事業	保健福祉事業費（介護保険事業特別会計）			
実施計画掲載ページ			事業名	高齢者の生きがいと創造の事業			
目的及び事業内容	60歳以上の市内高齢者が利用できるサービスで、専門講師による各種講座を開講し、高齢者が知識と経験を活かし、創造的活動と趣味を通して老後の生きがいを高めることを支援する。						
取組実績	各地区の会場において、木工・陶芸・手編み・七宝の各種講座を実施した。						
	1 受講者状況						
	地区	会場	講座	受講者数(実人数)	開催日時		
	本庁	総合福祉会館みなと荘	木工	22人	週1回（火曜日又は金曜日）2班集体制 午前10時から正午まで		
		陶芸	32人	週2回（水曜日及び木曜日で隔週制）2班集体制 午後0時30分から午後2時30分まで			
		手編み	40人	週1回（火曜日又は水曜日）2班集体制 午前10時から正午まで			
桃生	桃生公民館	七宝	6人	月2回（第2・第4木曜日） 午前10時から正午まで			
2 開講状況							
年度	区分	本庁			河南	桃生	計
		木工	陶芸	手編み	陶芸	七宝	
R1	実施回数	90回	93回	86回	22回	20回	311回
	延受講者数	851人	2,043人	1,653人	210人	96人	4,853人
R2	実施回数	59回	65回	56回	休止	20回	200回
	延受講者数	467人	442人	721人		73人	1,703人
R3	実施回数	93回	96回	91回	廃止	20回	300回
	延受講者数	724人	985人	1,049人		92人	2,850人
※河南地区の陶芸はサークル活動へ自立したため、令和3年度より事業を廃止した。							
成果	徹底した新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら事業を実施することで、高齢者の生きがいづくりを支援することができた。						
成果に係る評価	新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度は事業の休止期間があり、令和3年度も密集を避けるため1回当たりの受講者数を減らすなどの感染症予防対策を引き続き講じて実施した結果、実施回数及び延利用者数は例年より減少した。 気軽に参加できる活動の場を提供し、高齢者の生きがいを高めることは、閉じこもり予防や健康の保持増進を図ることにつながるため、引き続き事業を継続していくとともに、新規受講者の増加につながるよう、広報の充実などを検討する必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入	
	3,541,800	3,470,295	85,892			3,384,403	

予算科目	1 款	資本的支出	総合計画	第2章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち	
	1 項	建設改良費		第3節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進	
	1 目	管渠等建設改良費		(7)	下水道等の整備を推進する	
担当課	建設部下水道管理課		中事業	管渠等建設改良費（下水道事業会計）		
実施計画掲載ページ	P116		事業名	一般下水路整備事業		
目的及び事業内容	一般下水路の機能を保持し、効率的に雨水等を排除することにより、住民の健康と財産を守るとともに、地域の生活環境の改善と公衆衛生の向上を図る。					
取組実績	1 伊原津下水路改良工事 L=61m 契約金額 2,981,000円					
	2 黄金浜6号下水路改良工事 L=138m 契約金額 7,014,000円					
成果	未改良の一般下水路を整備することにより、市街地における雑排水及び雨水の排除を的確に実施し、降雨時の水害を未然に防止するとともに、衛生的な生活環境を供与することができた。					
成果に係る評価	降雨時の水害防止、衛生的な生活環境の供与、転落事故の防止等、事業の実施による多面的な効果が期待でき、有益な事業と評価できる。 また、事業の実施に当たり、一時的に建設工事費を要するが、未整備時に費やしていた除草、浚渫のための維持管理費用が軽減される。					
(単位：円)						
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳			
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入
	11,795,900	9,995,000			9,995,000	

予算科目	1 款	資本的支出	総合計画	第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち				
	1 項	建設改良費		第3節 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進				
	1 目	管渠等建設改良費		(7) 下水道等の整備を推進する				
担当課	建設部下水道建設課		中事業	管渠等建設改良費(下水道事業会計)				
実施計画掲載ページ	P117		事業名	公共下水道建設事業				
目的及び事業内容	<p>生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図るため、汚水管渠を整備する。また、大雨による浸水被害の防除を図るため、雨水排水ポンプ場や雨水管渠を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 汚水 全体計画面積：4,388.0ha、全体計画処理人口：99,700人 雨水【排水区域面積】 北北上運河右岸第一排水区管渠整備事業【233.7ha】 渡波排水区管渠整備事業【222.5ha】、南境排水ポンプ場整備事業【113.3ha】 							
取組実績	○令和3年度公共下水道建設事業実績							
	・汚水 整備面積、管渠施設施工延長実績							
	地区	整備面積(ha)	累計整備面積(ha)	管径(mm)	施工延長(m)	累計延長(m)	備考	
	石巻	12.20	1,911.78	φ150~250	2,821.08	454,717.96	県移管分を含む	
	河北	5.50	222.90	φ150	1,107.36	49,020.62		
	河南	2.10	455.40	φ150~200	204.11	84,098.25	鹿又地区を含む	
	桃生	0.50	191.99	φ150~250	453.83	29,015.03		
	北上	0.00	63.27	φ150	0.00	26,854.46	防集事業を含む	
	牡鹿	0.00	69.94	φ150	0.00	22,447.91	防集事業を含む	
	計	20.30	2,915.28		4,586.38	666,154.23		
・雨水 北北上運河右岸第一排水区管渠整備事業：中ノ堀排水路暗渠化工事(L=1,220m) 渡波排水区管渠整備事業：松原幹線工事(L=350m) 南境排水ポンプ場整備事業(ポンプ設備増設)：機械電気設備工事(N=2基)								
成果	○汚水 普及率、整備率の実績							
	汚水	地区	普及率 (供用開始区域人口/行政区域人口)		整備率 (整備済面積/全体計画面積)			
			R2	R3	R2	R3		
	下流東部流域	石巻	98.6%	98.7%	81.3%	81.3%		
		河北	65.4%	66.0%	50.6%	52.8%		
		桃生	68.6%	68.8%	59.2%	59.4%		
	下流流域	計	88.8%	89.0%	71.7%	72.1%		
		石巻	75.0%	75.9%	61.7%	62.3%		
		河南	49.6%	49.7%	53.3%	53.5%		
	単独	計	69.6%	70.2%	59.0%	59.6%		
河北		77.8%	77.8%	67.4%	67.4%			
北上		50.7%	49.3%	100.0%	100.0%			
牡鹿	35.1%	35.1%	90.8%	90.8%				
合計		74.2%	74.7%	64.9%	65.3%			
※北上地区の普及率低下は、供用開始区域人口の減少が行政区域人口の減少より多いため。								
○雨水 工事進捗状況 中ノ堀排水路暗渠化工事：一部施工完了(220m/1,220m)、松原幹線工事：18.1% 南境排水ポンプ場機械電気設備工事：96.0%								
成果に係る評価	下水道施設は健全な都市環境に欠かせない社会資本であり、今後も更なる整備が求められている。震災以降は、東日本大震災による災害復旧・復興事業と並行して新たな面整備事業を行っており、国からの予算や人員等の確保など厳しい面もあるが、今後も効率的に事業を進めていく必要がある。							
(単位：円)								
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳					
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入		
	3,346,459,058	3,284,805,166	1,347,558,733	1,694,315,450	242,930,983			

予算科目	1 款	資本的支出	総合計画	第2章 都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち			
	1 項	建設改良費		第3節 安全安心な住環境と都市機能の整備の推進			
	3 目	浄化槽建設改良費		(7) 下水道等の整備を推進する			
担当課	建設部下水道管理課		中事業	浄化槽建設改良費(下水道事業会計)			
実施計画掲載ページ	P115		事業名	浄化槽市町村整備推進事業			
目的及び事業内容	北上総合支所所管区域内の公共下水道計画区域以外の区域を対象に、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため、浄化槽を整備することにより、生活環境の改善及び公衆衛生の向上に資することを目的とする。						
取組実績	公共浄化槽整備の実績						
		5人槽	42人槽	計			
	設置基数	2基	1基	3基			
	工事金額	2,057,000円	5,434,000円	7,491,000円			
成果	事業の継続実施により、公衆衛生環境の改善が図られた。						
	主な指標項目	R1	R2	R3			
	設置基数	4基	5基	3基			
成果に係る評価	豊かな自然環境を次世代に継承するためには、公共下水道等の集合処理施設の整備と併せ、集合処理区域外の浄化槽整備も並行して引き続き推進する必要がある。						
(単位：円)							
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳				
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入	
	14,680,000	7,491,000	120,000	4,600,000	2,771,000		

予算科目	1 款	下水道事業費用	総合計画	第 2 章	都市と自然が調和し快適とやすらぎが生まれるまち													
	1 項	営業費用		第 3 節	安全安心な住環境と都市機能の整備の推進													
	7 目	普及促進費		(7)	下水道等の整備を推進する													
担当課	建設部下水道管理課		中 事 業	普及促進費（下水道事業会計）														
実施計画掲載ページ	P116		事 業 名	浄化槽切替助成事業														
目的及び事業内容	<p>下水道供用開始区域の浄化槽使用者に対し、浄化槽等から公共下水道に接続替えする際に上限を10万円として工事費の一部を補助し、下水道接続を促進する。 (補助金の交付対象となる経費は、既設の浄化槽を廃止し、公共下水道に接続する排水設備を設置する工事に要する経費)</p>																	
取組実績	<p>浄化槽切替助成の実施</p> <table border="1"> <tr> <td>助成件数</td> <td colspan="5">60件</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td colspan="5">5,959,000円</td> </tr> </table>						助成件数	60件					補助金額	5,959,000円				
助成件数	60件																	
補助金額	5,959,000円																	
成果	<p>負担の軽減につながり、下水道への接続件数が増加し、水洗化率の向上が図られた。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な指標項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th colspan="3">R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>助成件数</td> <td>70件</td> <td>73件</td> <td colspan="3">60件</td> </tr> </tbody> </table>						主な指標項目	R1	R2	R3			助成件数	70件	73件	60件		
主な指標項目	R1	R2	R3															
助成件数	70件	73件	60件															
成果に係る評価	<p>公共下水道の整備に伴い供用開始区域が拡大し、普及率が上昇する中で早期に公共下水道に接続替えすることが水洗化率の向上につながるため、継続して事業を実施していく。</p>																	
(単位：円)																		
予算の執行状況	予算額	決算額	決算額の財源内訳															
			国(県)支出金	地方債	その他	事業収入												
	8,000,000	5,959,000	2,579,000		2,579,000	801,000												